

## 2012 年度提出卒業論文題目一覧

劇場の公共性をめぐって	小島 美佐子
アニメにおける神話的キャラクターと物語フィクションの意義への自己言及的構造について	坂井 一允
円谷英二以降の日本の特撮研究	中村 紘太
小津安二郎	澤田 舞
『少女革命ウテナ』論	小林 麻美
ハリウッド映画とレイシズム	浅沼 千紘
映画にみる衣裳とアイデンティティ	粉川 美穂
『ダーティハリー』におけるクリント・イーストウッドのスター像	相良 文太
細田守の演出術	(非公表)
プレストン・スタージェス論	藤原 遼太郎
舞台の「ウソ」と食べる行為	安藤 紗恵子
「演劇的」を映画から探る	生島 ほのか
失われた一回性を巡って	内田 智也
ドキュメンタリー映画における被写体との向き合い方	梅里 奈央
『舞台 蒼穹のファフナー』論	大音 智海
団鬼六『花と蛇』研究	岡本 麻結
90年代以降の英米映画における性の越境	面田 恵都
20091116—4.48 サイコシス論	砂金 有美
ケンシロフスキ映画における身体離脱的な視点ショット	柏木 智史
映画と非現実	金子 瑠美
現代漫才とその源流	上山 健太郎
映画検閲	川崎 美穂
ドキュメンタリー映画論	河村 美希
映画と食事	神崎 遥
フリッツ・ラング	奇 剛鎬
日本における初期映画の受容	岸川 夏海
日本文化開放以降の韓国における日本映画受容	金 アヨン
小津安二郎の映画における親子	キム ヒョンシク
劇団四季の舞台美術	小林 沙織
コマン映画における『モンスター』について	斎藤 雄太
歌舞伎の境界	佐川 芽生
文学の映画化	佐々木 美穂

女性から観るタルコフスキー	佐藤 岳
植民地時代朝鮮映画に及んだ日本の影響	沈 スルギ
蜷川幸雄演出『ロミオとジュリエット』論	鄭 銀澤
ジャック・リヴェット論	鈴木 夏子
大島渚の女性像	田幸 翔
近代大阪における劇場と俳優	西本 涼子
俳優の地位に関する研究	藤生 一磨
ビリー・ワイルダーのコメディはサスペンス性を持ちうるか	藤野 光
映画を巡る伊丹十三の仕事	丸上 瞬
北野武映画における性	山本 裕介
日本のミニシアター文化	伊 晶敏
太田省吾と言葉	吉岡 紗良
「21世紀の戦争映画の可能性」	若林 良
『生きる』分析	藁科 梓